

メキシコはとうとう雨期に入りました。私の友人の多くが体験していない季節になりドキドキしています。メキシコの雨期は五月十五日からと言われていると大家さんが教えてくれました。こちらに来た当初のように雷を伴う雨が夕方を中心に降るようになり、暑くてたまらなかったメキシコの気温が下がってだいぶ過ごしやすくなりました。

「今までの人生でやってみなかったことをやる」という小さな目標を立てて早九か月ですがまだまだやり残していることがあります。

三宅優美

Atacomulco(アトラコムルコ)

Atoacomulco という場所を、友人のいとこの結婚式に参加するために訪ねました。驚いたことに私は新郎新婦とは初対面でしたが、彼らと一緒に写真を撮ったのに紹介されることはありませんでした。こうしたことは、メキシコの誕生日や結婚式ではよくあるそうです。ちなみに、さすがにあまり一般的ではない話のようですが、知らない人のお葬式に呼ばれたこと

もあります。喪服を持っていないと断っても気にしないでいいからと出席を促されました。「是非おいでよ!」「絶対来てね!」などといった言葉をもたらるのが不思議でたまりませんでした。

←☆結婚式会場といただいた白バラの飾り物☆

↓☆誘ってくれた友人家族と☆



友人達と一緒に白バラで飾り付けたこの結婚式会場は、すごく温かいものでした。またここでもメキシコの文化にまたひとつ面白い発見をしました。式場などには鉢に植えられた花が飾られていると思うのですが、日本で花を抜いて持ち帰ることはあるかと思います。しかしメキシコでは、結婚式出席者の皆さんは、テーブルや通路に置いてあるお花を植木鉢ごと持って帰っていくのです。私も友人の家族に、「おうちまで送っていくからこのお花を持って帰ってね」と大きな白バラの飾り物の一ついただきました。実は、その白バラは、ドライフラワーにして現在の私の部屋に飾ってあります。メキシコの空気は日本よりずっと乾燥し

ているので、生花をドライフラワーにしやすかったです。

Museo de las Mariposaas monarca (モナルカ蝶の博物館)

モナルカ蝶とは、メキシコの Michoacán(ミチョアカン)州を中心とした地域とアメリカ合衆国北部からカナダにかけての地域を半年ほどのサイクルで行き来する移民蝶の事です。11月下旬から3月上旬の数か月をメキシコで過ごし、カナダとアメリカ合衆国の国境あたりへ三月の終わりに帰っていきます。モナルカ蝶はメキシコの Michoacán(ミチョアカン)州の Morelia(モレーリア)という小さな村を中心に大集合するらしいのですが、残念ながら私は予定が合わず訪ねることが出来ませんでした。モナルカ蝶を見る事ができなかった、とずっと後悔していました。



しかし、メキシコシティの観光地の1つである Chapultepec (チャプルテペック)という場所にある動物園で偶然モナルカ蝶を見ることのできる特別展示が開催されていました。モナルカ蝶はもちろん、ほかにもいくつかの蝶を同時に見ることができて、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。小学生の時に観察したアゲハチョウの思い出がよみがえるようでした。幼虫がさなぎになる過程から、さなぎから蝶が出てきたばかりの蝶の様子展示もあり、興味深いものがありました。同時展示のタランチュラや、サソリなどに少々怯えながらも楽しいひと時でした。

メキシコシティには、まだまだたくさんの博物館が点在しています。チョコレート博物館や、それほど有名ではありませんがなんとミイラの博物館もあるのだとか。次は蠟燭の博物館に足を運ぶ予定です。休みの日を利用してもっともっといろいろな場所に足を運べたらと思います。